

## (2) 御坂地区

### ・施設配置状況

北西部の御坂支所を中心とした半径 2 km圏内に主要な公共施設である小学校、図書館や児童館などが集約され、南部にデイサービスや公園などが点在し合計 25 施設(15 用途)を配置しています。(図 3-4)



図 3-4 御坂地区の施設配置状況

・保有施設の現状

御坂地区は25施設(42棟)、延床面積31,181.84㎡(市全体の延床面積の14.1%)を保有しており、住民一人当たり延床面積の2.55㎡/人は地区別で最も少なくなっています。(表3-4)

保有施設の用途別内訳を見ると、小学校(2校)が30.7%、中学校(1校)が19.2%と延床面積の49.9%を占めています。

大規模改修を検討する目安となる築30年以上経過した建物の施設延床面積の割合は60.2%と地区別で最も高く、他の地区よりも施設の老朽化が進行しており、消防・防災施設、その他施設では100%となっています。

施設維持管理コストは162,621千円と市全体の10.3%を占めており、一人当たり13.3千円/人と市全体の22.2千円/人よりも低くなっています。

施設用途類型	施設延床面積(A)			築30年を経過した建物(B)		施設維持管理コスト		
	延床面積	住民一人当たり	構成比	延床面積	構成比(B÷A)	合計	住民一人当たり	構成比
庁舎	906.14㎡	0.07㎡/人	2.9%	-	-	16,611千円	1.4千円	10.2%
消防・防災施設	233.27㎡	0.02㎡/人	0.7%	233.27㎡	100.0%	5,060千円	0.4千円	3.1%
小学校	9,573.00㎡	0.78㎡/人	30.7%	8,022.00㎡	83.8%	20,429千円	1.7千円	12.6%
中学校	6,002.00㎡	0.49㎡/人	19.2%	5,307.00㎡	88.4%	13,036千円	1.1千円	8.0%
給食施設	600.00㎡	0.05㎡/人	1.9%	-	-	8,021千円	0.7千円	4.9%
集会所	2,761.88㎡	0.23㎡/人	8.9%	1,928.92㎡	69.8%	11,980千円	1.0千円	7.4%
図書館	659.90㎡	0.05㎡/人	2.1%	-	-	14,596千円	1.2千円	9.0%
体育施設	2,129.84㎡	0.17㎡/人	6.8%	2,024.44㎡	95.1%	6,880千円	0.6千円	4.2%
市営住宅	641.60㎡	0.05㎡/人	2.1%	-	-	911千円	0.1千円	0.5%
保育所	2,700.53㎡	0.22㎡/人	8.7%	667.50㎡	24.7%	27,542千円	2.3千円	16.9%
児童館	603.12㎡	0.05㎡/人	1.9%	-	-	17,491千円	1.4千円	10.8%
高齢福祉施設	1,815.24㎡	0.15㎡/人	5.8%	524.30㎡	28.9%	4,231千円	0.3千円	2.6%
商業・観光施設	1,833.32㎡	0.15㎡/人	5.9%	-	-	14,405千円	1.2千円	8.9%
保健・衛生施設	670.00㎡	0.05㎡/人	2.2%	-	-	1,428千円	0.1千円	0.9%
その他施設	52.00㎡	0.00㎡/人	0.2%	52.00㎡	100.0%	-	-	-
合計	31,181.84㎡	2.55㎡/人	100.0%	18,759.43㎡	60.2%	162,621千円	13.3千円	100.0%

表 3-4 御坂地区の施設用途類型別の状況

・人口動態

御坂地区は、2番目に多い12,234人を有しており、将来人口推計から平成37年度に総人口が11,105人(1,129人減、-9.2%)平成52年度には9,590人(2,644人減、-21.6%)となり、年少人口が933人(785人減、-45.7%)高齢者人口が3,715人(718人増、+24.0%)となることから、人口減少と高齢人口の増加が見込まれる地区となります。(図3-5)

このため、今ある施設31,181.84㎡(住民一人当たり2.55㎡/人)を全て保有し続けると、住民一人当たり延床面積は平成37年度に2.81㎡(1.10倍)平成52年度に3.25㎡(1.27倍)へと推移していきます。(図3-6)

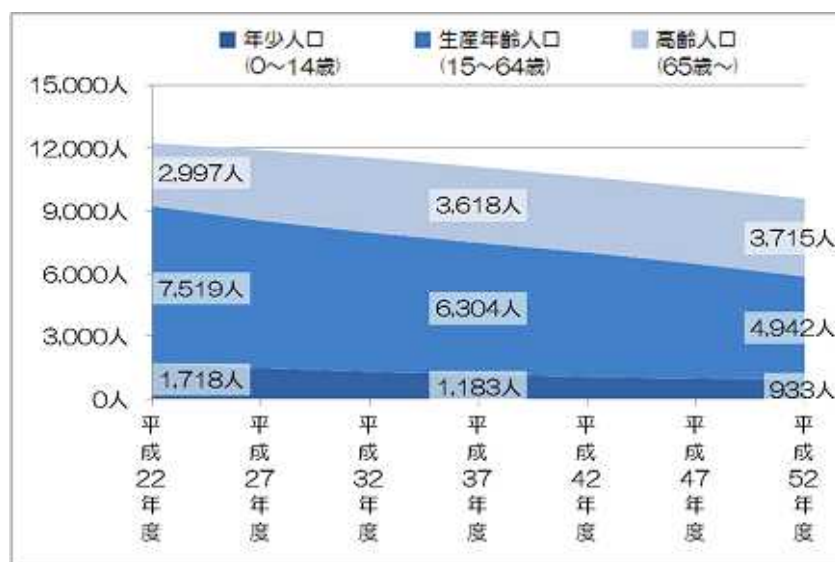


図 3-5 年齢階級別の人口推移

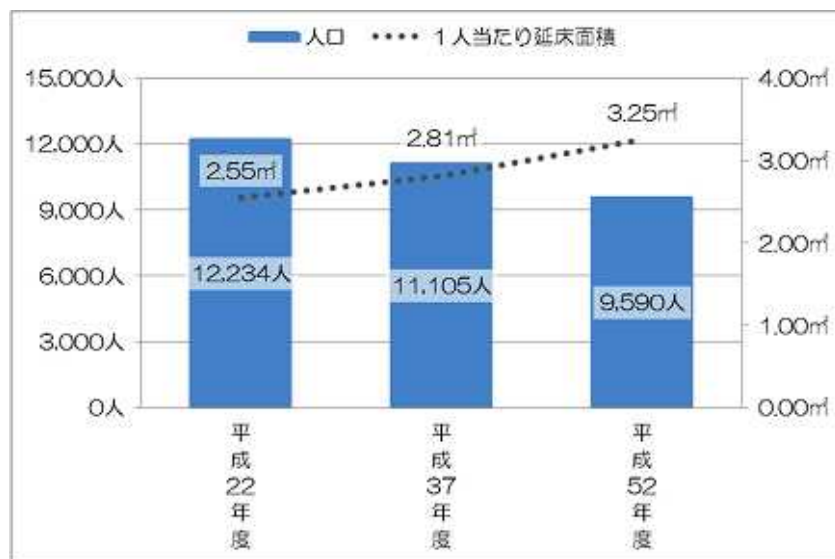


図 3-6 人口推移と住民一人当たり延床面積